子ども・若者との対話　実施概要

項目	内容
目的	中央文化センター、保健センター、ふれあい会館及び生涯学習センターの学習機能の移転先となる複合施設の整備に向け、子ども・若者が求めるニーズを把握する。
方法	● 市長と語る会、ヒアリング調査（参加人数：合計３９人） ● アンケート調査（回答件数：合計１，５３０件） ● 府中若者ミライ会議（参加人数：１１人）
期間	令和８年２月～８月
対象者	● 府中市立府中第一小学校 ● 府中市立府中第二小学校 ● 府中市立府中第一中学校 ● 東京都立農業高等学校 ● 明星中学校・高等学校 ● ボーイスカウト府中第１団・ガールスカウト東京都第２８団 ● 府中若者ミライ会議

子ども・若者との対話　まとめ

全体の主なニーズ

- ✓ 友人と一緒に過ごせる空間や学習スペースに対するニーズが多い。
- ✓ 次に、飲食ができることや、活動の息抜きの場が求められている。
- ✓ 他に、運動ができる空間へのニーズや、フリーWi-Fiなどの設備に関するニーズも見られる。

番号	ニーズ	内容
1	**交流・友人と過ごす**	友人との談話やグループでの活動などができる場所
2	**学習・読書**	個人利用とグループ利用の両方ができる場所
3	**飲食・カフェ**	持込み可能な飲食エリア、売店・カフェ・自動販売機
4	**くつろげる**	活動の合間や休日にくつろげる空間
5	**遊び・運動**	全天候型の運動エリア・屋内遊び場
6	**設備・利便性**	フリーWi-Fi、電源、遊び道具の貸出し

子ども・若者との対話　まとめ

年代別の傾向

- ✓ 小学生：身体を動かせる運動スペースや遊具に対するニーズが多い。
- ✓ 中学生：勉強のためのスペースと友人と一緒に遊べる機能の両方に対するニーズが共存している。
- ✓ 高校生：１人で集中して勉強をするためのスペースについてのニーズが多い。

年代	主なニーズ
小学生	天候に左右されない遊び・運動／年齢別の安全性／くつろぎ／明るく楽しい空間
中学生	友達との交流・飲食／個人・グループ学習／気分転換の運動／気軽な利用
高校生	放課後の交流・飲食／一人の休憩・学習／創作・表現活動／相談／他校との交流

子ども・若者との対話　まとめ

施設のあり方

- ✓ 子ども・若者のニーズを踏まえた施設のあり方を次のとおり整理した。
- ✓ これらの施設のあり方を参考に、複合施設の整備に向けた更なる検討を進める。

多様な利用ができる	遊び、勉強、交流など、その日の気分や目的に応じていろいろな利用ができる 活動的な空間や静かな空間など、利用目的に応じた適切な空間がある
気軽に滞在できる	グループでも個人でも予約なしで使うことができ、長時間滞在できる
各世代が安全に利用できる	幼児、小学生、中高生などの各世代が、活動の違いに応じて安全にすみ分けながら、世代間の交流も図ることができる
明るく開放的で入りやすい	大きな窓から施設内の様子が見えるなど、安心して施設に入ることができる
周辺施設を活用できる	府中公園など、周辺の公共施設と行き来しながら利用することができる
再訪したくなる魅力がある	さまざまな仕掛けや多くのイベントなどがあり、何度も行きたくなる